

誘導施設の考え方について

※第4回策定委員会（3/28）に提示した施設
第4回策定委員会（3/28）で提案のあった施設

機能	施設	事務局案
商業	複合商業施設	【複合商業施設】として誘導施設に設定
	ホームセンター	現在、再開発の検討が進められており、具体的な施設は未決定であり、「複合商業施設」を誘導施設とし、その考え方を「複数の小売り・サービス・飲食・娯楽などの店舗が1箇所に集まった店舗」と含めた内容に修正する。また、誘導施設については、施設の個数という考えではなく、その機能を維持・充実という観点で考える。
	映画館	
	衣料品店	
医療	診療所	誘導施設に設定しない 診療所については、身近な場所にあったほうが良いという、分散施設に位置付けているため誘導施設には位置付けない。
金融	銀行・信用金庫	【銀行・信用金庫】として誘導施設に設定 金融サービスを提供する施設として利便性の高い中心拠点に配置するため誘導施設に位置付ける。
子育て	幼稚園、保育園、認定こども園、小規模保育事業所等	【幼稚園、保育園、認定こども園、小規模保育事業等】として誘導施設に設定 今後の市民ニーズに対応するため「幼稚園、保育園、認定こども園、小規模保育事業所等」を誘導施設に設定する。
	一時預かり・病児病後児保育施設	【一時預かり・病児病後児保育施設】として誘導施設に設定 今後の市民ニーズに対応するため「一時預かり・病児病後児保育施設」を誘導施設に設定する。
障がい者福祉	障害者支援施設	誘導施設に設定しない 北エリアには必要と考えるが、駅周辺は家賃が高く駐車場の確保も難しいため、都市機能誘導区域内に限定したものにはせず、誘導施設には位置付けない。
教育	小学校	【小学校】として誘導施設に設定 小学校について、都市機能誘導区域内では第三小学校の複合化を予定しているため、誘導施設に設定する。
文化	図書館	【図書館】として誘導施設に設定 基幹的な公共施設として多くの人が利用しやすい駅周辺で機能を維持するため誘導施設に設定する。
	公民館・コミュニティセンター・地域センター	【公民館、コミュニティセンター、地域センター】として誘導施設に設定 公民館・コミュニティセンター・地域センターは、地域それぞれに分散した配置が基本となるが、本町地域センターは、再開発ビルへの移転の可能性等を考慮し「公民館・コミュニティセンター・地域センター」として誘導施設に設定する。
	美術館・博物館	誘導施設に設定しない 規模的な観点から、駅前での新規立地は難しく、公共交通を利用してそれらを体験できる場に赴いてもらうということを基本とし、誘導施設には位置付けないこととした。
	コワーキングスペース等	【活動・交流スペース】として誘導施設に設定 駅前だけにこだわらず、丸山台など都市機能誘導区域全体を想定して誘導施設に位置付ける。誘導施設としては、「活動・交流スペース」とし、コワーキングスペース、サテライトオフィス、インキュベーション施設などの共同利用型オフィスとミーティング、集会の場、学習スペースなどに利用できる屋内多目的室を含めた定義とする。
	コワーキングスペース	
	インキュベーションセンター	
	サテライトオフィス	
	会議室	
その他	学ぶ場	誘導施設に設定しない 公共交通ターミナルはバス事業者との調整や大幅なバス路線の再編が必要となり、和光市駅前での誘導施設に位置付けることは難しいため、駅周辺の交通結節機能の向上は必要であり、駅北口の駅前広場や自動運転バスの乗り継ぎ拠点としての、モビリティハブの整備は必要であると考えるが、誘導施設には位置付けない。
	多目的スペース	
	公共交通ターミナル	
その他	ホテル・業務	誘導施設に設定しない 誘導施設は、都市の居住者の共同の福祉又は利便のために必要な施設となるため、専ら都市の居住者以外の者のための施設は想定しない。

検討経緯	
第4回策定委員会(3/28)での意見	庁内ヒアリング・第4回作業部会等の庁内検討内容
複合商業施設について、駅前での商業のニーズはあると思う。	
開発地域への映画館、衣料品店、ホームセンター等を含む大規模商業施設を誘致することで、賑わいを創出できるのではと思う。	
透析を必要としている方が今後増えてくると思うので、そのような診療所が増えてくると良い。	
	・保育園等は、駅への通勤者も多いことから、駅周辺のニーズが高まっており、また、駅北口の高度利用化による人口増加により、施設が不足する事態が想定される。 ・病児保育事業の環境整備が求められているが、中央エリアには事業を行っている施設がないため、検討を行う必要がある。 ・市として、子育て世代の定着という課題がある。
障害者相談支援事業所(北エリア)の設置が必要であると考える。また、地域活動支援センターやフリースペースの併設もできると良いと思う。	・北エリアには相談支援施設がなく、需要はある。しかし施設運用には維持費用が大きくなるため、この地域では困難である。
	・第三小学校は、第2次和光市公共施設マネジメント実行計画(R4～R8)で複合化を検討し、R9～R13の第3次実行計画において建替を行うこととなっている。
	・全市民が利用する施設として、利便性の高い地域への立地の維持は検討するべきである。
	・本町地域センターは地域センターの中で最も利用者が多く、若い世代や市外の人も利用している。 ・再開発ビルに入る公益施設として地域センター的な会議室を検討している。
文化面について、美術館・博物館など、誘導施設として考えていくといいのではないか。	・整備時期は未定であるが、午王山遺跡が国の史跡に指定されたため、指定の要件としてガイダンス施設を遺跡付近に整備することになる。
会議室について、ほかの市町村でも駅前の会議室は稼働率が高いので、コワーキングスペースと連携しながら、会議室や、学習の場、イベント・待合スペースといった使い方もあるのではないか。	
	・再開発ビルに入る公益施設として議会陳情のあった100名規模の会議ができるスペースを確保できるか検討している。
バスを待つスペースや、モビリティハブのような交通の乗り換え機能、和光市版バスタのようなバスセンターがあるといいではないか。	・地域公共交通計画でサイクル&バスライドの検討を行うこととしており、駅やバス停付近、主要な生活施設などにサイクルポートを配置し乗り継ぎ機能を充実することを想定している。
複合商業施設について、ホテルや業務などのニーズもあるため、複合的な部分をうまく表現していただければよいと思う。	